

## 個性と魅力が輝くまちづくり（音楽の街・金沢を目指して）

### 高畠町会

#### 目 的

みんなで同じ気持ちを共有して、一つのものを表現するのが「合唱」。合唱を通じてできた仲間とは、他とは一味違う強い結びつきができると思う。違う声、違う性格を持つ一人一人が、損得など関係なく気持ちをひとつにして声を合わせるのが合唱で、全員の気持ちと声がぴたりと合い、美しいハーモニーができた時には、「ぞくっ」とするような興奮と感動が得られる。その興奮や感動を、またみんなで共有する密度の濃い体験は、他の場所ではなかなかできないと思う。

#### 概 要

地域で参加者を募り歌声を届けることから始めて、地域の活性化や「音楽のまち・かなざわ」を目指す。歌声の有効性や人が集える仕組み作りや、定期的な練習に計画性を持たせることが、地域活性化と音楽をつなげることで、住民同士の絆を大切にしていきたい。

#### 実施スケジュール

時 期	内 容	場 所	備 考
7月	団員の募集 定期練習の実施 会館落成式イベント参加	高畠6町会 高畠会館 高畠会館	
8月	定期練習の実施	高畠会館	
9月	定期練習の実施	高畠会館	
10月	定期練習の実施 式典へのイベント参加	高畠会館 高畠会館	
11月	定期練習の実施 米丸公民館文化祭参加	高畠会館 米丸公民館	
12月	定期練習の実施	高畠会館	
1月	定期練習の実施	高畠会館	
2月	定期練習の実施	高畠会館	
3月	定期練習の実施	高畠会館	

#### 事業の運営体制

役 割	人 数	備 考
指揮、伴奏、企画立案	5名	町会役員、参加者有志
広報	15名	町会役員、参加者有志
合唱に必要なものの調達	5名	町会役員、参加者
定期練習	25名	参加者全員

#### 事業実施にあたり工夫した点など

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町会事業ではこれまで様々な行事の中止や延期が相次ぎました。そんな中、合唱を熱心に取り組む高畠町会の市民が工夫をして、「ほのぼの合唱団」を結成した。

7月に開かれた高畠会館の落成式典を皮切りに、他町会の50周年記念式典、校下公民館事業の文化祭イベントにも参加した。

練習では、息の合う仲間が高畠会館に集まり、参加者は前後左右の距離を保ちながら、歌を大切にしている仲間の願いを届けるためマスクをしたまま歌い、コロナウイルス感染防止策も強化した。

マスクを付けてでも声を合わせて共に音楽を楽しむ喜びは、大きな気分の高揚にもつながり、また、脳の活性化にも役立っている。

## 事業の成果

音楽を通じて町の個性である文化や質の向上、また、新たな分野での活性化を模索し、他にはない地域コミュニティを  
図っていくため、町会やその他のNPO等の市民活動団体、事業者などと連携し、新しい地域のコミュニティのあり方などを  
導き出せたと思う。

## 課題や今後の展望など

合唱の文化は少しずつ厚味を増してきている。今後は、ますますの合唱の演奏会を広く宣伝できるように、まずは会員で  
ある私たちが合唱を楽しみ、明るい歌声で町全体を輝いた光のある町作りをしていけるように、工夫を模索しながら一歩一  
歩前進したいと考えている。近い将来にはマスクを外した練習が可能になり、響きの違いに驚く時が来ると感じる。

今回の町のコミュニティ事業であります「ほのぼの合唱」は、高畠会館に練習会場を提供してもらえたほか、6町会の  
協力を受けることもできた。「高畠ほのぼの合唱団」の更なる取り組みに、町会内からも熱い期待が寄せられており、今後  
は、合唱を趣味とする人たちが多く増え、町の活性化に大きく役立つことを願うとともに、自らの人生表現を豊かにするこ  
ともにつなげていきたいと考えている。

